

富津市図書館協議会 会議録

1	会議の名称	令和5年度第3回富津市図書館協議会
2	開催日時	令和5年12月21日(木) 午後2時00分～午後3時00分
3	開催場所	富津市役所4階 401会議室
4	審議等事項	(1) 令和5年度事業の進捗について (2) その他
5	出席者名	○出席委員 川口泰明、杉田玲子、保坂典江、平 順子、 長谷川令子、永野弘子、吉田侑季、 伊藤隆男、富井 碧 ○事務局 平野教育部長、樋口生涯学習課長、 吉村社会教育係長、網代主査 ○(株)図書館流通センター(指定管理者) 清水エリアマネージャー、澤田、 須藤図書館長、大河原
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	4 人(定員10人)
9	所管課	教育部生涯学習課社会教育係 電話 0439-80-1345
10	会議録(発言の内容)	別紙のとおり

令和5年度第3回「富津市図書館協議会」会議録

発言者	発言内容
樋口課長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>委員の皆様におかれましてはご多用の中、本会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議の進行を務めさせていただきます、生涯学習課長の樋口でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは会議前に担当より配付資料の確認をさせていただきます。</p>
吉村係長	<p>それではお手元に配付いたしました会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>初めに本日の次第がございまして、次に委員名簿、席次表と続きます。次に資料1として、第2回会議以降で寄せられたご質問等について、資料の2-1としまして、令和5年度自主事業進捗報告の通年事業、資料2-2といたしまして、同じく自主事業の進捗状況報告の期間事業、最後に資料2-3といたしまして、自主事業（予定）、以上を会議資料として配付させていただきましたが、不足等はございませんでしょうか。</p>
樋口課長	<p>それでは開会に先立ちまして、この度、図書館の人員配置に変更がございましたので、指定管理者であります株式会社図書館流通センターよりご報告をさせていただきます。</p>
清水エリアマネージャー	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>株式会社図書館流通センターで千葉県を担当しております、エリアマネージャーの清水と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>最初にお時間を頂戴して人員配置の変更についてご報告させていただきます。</p> <p>前回まで協議会に出席させていただきました館長の小川ですけれども、本人の希望により退職となりました。</p> <p>代わって、本日参加しています須藤が着任させていただきます。須藤は現在、同じく弊社の指定管理館であります茂原市立図書館で館長を務めておりました、1月より正式着任となりますけれども、既にこちらで業務を一部開始しております、滞りなく業務を引き継いでいるところです。</p> <p>このような新体制となりますが、引き続き皆さまのご協力を賜りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
須藤館長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>この度、1月1日より富津市立図書館の館長に着任いたします、須藤治朗と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>これまでの経歴を話させていただきますと、説明がありましたように、4年間、茂原市立図書館の館長をさせていただきました。その前に、品川区立図書館に勤めさせていただきました。経験は3館目で、まだまだ経験は浅いのですが、</p>

<p>樋口課長</p>	<p>これまでに培った経験等もございます。そういったものを生かしながら、利用者に対して、居心地の良い図書館を提供していきたいと思っておりますので、これからは皆様のご協力を賜りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それではただいまから、令和5年度第3回富津市図書館協議会を開会いたします。</p> <p>初めに、本日の委員の出席状況を報告させていただきます。</p> <p>10名の委員のうち9名でございます。</p> <p>従いまして、富津市立図書館条例施行規則第20条5項の規定により、半数以上の出席をいただいておりますので会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>続きまして会議の公開についてですが、本日4名の傍聴者がおりますことをご報告申し上げます。</p> <p>また、会議録作成のため録音させていただきますので、ご了承願います。</p> <p>それでは初めに川口会長からご挨拶を頂戴したいと存じます。</p>
<p>川口会長</p>	<p>皆さん改めましてこんにちは。</p> <p>本日は3回目の協議会ということでございますけれども、2回目を7月に実施してから5か月経ったわけでございます。その間、図書館では9月に来館者数が10万人に達したというところでございます。これにつきましては多くの方が、気軽に立ち寄る憩いの場として利用される図書館になってきたのかなと感じたところでございます。</p> <p>そのような中で、私事ではございますけれども、私の妻が本が好きで、秋の読書週間に図書館で本を借りてきました。それは福袋というものでございました。題名が「家事を頑張っているあなたへ」だったと思います。なかなかいい案だなと感激しました。中身は図書館司書の方が選んだ本が入っておりました。</p> <p>このように、夢のある推薦本の提供で、こんな仕方もあるんだなと感動したところでございます。同時に、図書館流通センターさんの、本に興味を持ってもらうとか、楽しんでもらうというような、熱意を感じたところでございます。</p> <p>本日は、前回会議でのご質問に対する報告、令和5年度の事業の進捗についての説明を事務局から、そして皆様のご意見を伺い、議事を進行していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>以上、私の挨拶とさせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。</p>
<p>樋口課長</p>	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それではここからは富津市図書館条例施行規則第20条第4項の規定によりまして会長に議長となつていただき、進行をお願いしたいと存じます。</p> <p>川口会長よろしくお願いいたします。</p>

川口会長	<p>それではここから私が議事進行を務めさせていただきます。円滑な議事進行運営となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>議題に入る前に、会議録署名人を指名させていただきます。</p> <p>永野委員と吉田委員、署名人になっていただいでよろしいですか。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは議題に入ります前に、前回会議での御質問に対する報告を事務局からお願いいたします。</p>
吉村係長	<p>それでは前回会議以降でご質問いただいた中で検討事項としておりました内容の進捗を報告させていただきます。</p> <p>お配りした資料1をご覧ください。</p> <p>初めに質問1ですが、広報誌・リーフレットなどの配布物の場所がわかりづらいことから、情報コーナーのようにまとめて、かつ利用者同士の交流が促進できるようなコーナーの設置、という件につきましては、図書館内のフロア中央部分に配布物等を集約し、さらに閲覧席を設けまして、利用者が情報誌を閲覧したり交流できたりするようなスペースを設置いたしました。</p> <p>次に質問2ですが、図書館主催の講座等を市役所や公民館会議室等を活用するなど、内容に見合った環境での開催検討、という点につきましては、ご意見を参考にさせていただきまして、11月に実施しました読み聞かせボランティア養成講座は、公民館の会議室を借りて実施いたしました。今後も内容等に応じて公共施設の会議室を活用してまいりたいと考えております。</p> <p>次に質問3、読書支援員との連携というところですが、現在は学級文庫や団体貸出の絵本の選書に協力をさせていただいている他、貸出、返却時に読書支援員さんとお会いして、図書館への要望であったり、その他の相談等をヒアリングさせていただいています。引き続き、読書支援員を所管しております学校教育課と連携を図りながら、様々な支援・方策を検討していきたいと考えております。</p> <p>次に質問4、図書システムにおける図書の配架場所の明確な表示ということで、前回、図書システム上は開架と表示されているのに、実際は閉架に所蔵されていたという事務手続き漏れがございました。改めて登録の点検を行いまして、誤り・漏れがあったものについては修正をしました。</p> <p>次に質問5、大型絵本の開架と個人貸出についてですが、開架については、本のサイズの書棚への配架が難しいということから、フロア内に大型絵本の見本コーナーを設けまして、絵本の希望があればカウンターでお渡しして、館内に限り閲覧できるようにいたしました。なお個人貸出については、開館したばかりで蔵書数も少ないことから、引き続き団体貸出のみに限定させていただき、今後の拡充状況を見ながら検討してまいりたいと思っております。</p> <p>次に裏面にいっていただきまして質問6、現在図書館に置いてある雑誌以外の雑誌をスポンサーできないかという点につきまして、そういったお話があれば雑誌棚を調整するなどして積極的に受け入れをしていきたいと考えております。</p>

<p>川口会長</p>	<p>最後に質問7、図書の貸出・返却システムなどの基本情報がまだまだ認知されていないという点につきましては、まずは各図書施設に要点をまとめたものを掲示いたしました。引き続き広報ですとかホームページを活用しながら随時発信しまして、利用の周知に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>検討事項の進捗としては以上になります。</p>
<p>平委員</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>事務局からの説明は終わりました。委員の皆さんからご質疑等ございますか。はいどうぞ。</p> <p>私、読書支援員として勤務しておりますので、質問3の読書支援員との連携についてということで。前回この会議で取り上げていただいてありがとうございました。実際にこちらに書いてある通り、前館長さんが実際に全ての小学校・中学校、11校あるんですけども、全ての学校に出向いてくださって、実際に学校の図書館の現状を見ていただき、それぞれ市の図書館と何が連携できるのかということとを相談にのっていただきました。館長さんが変わったということですが、そのときにそれぞれの学校からの要望があったと思いますので、それを引き続いてやっていただけたら、さらにいい連携ができるのではないかなと思います。とてもありがたかったです。</p> <p>それから団体貸出のことで、この話になるまでは読書支援員という立場として本を借りることはできなかったんです。個人として本を借りて学校で読み聞かせ等に使用していただいたんですが、読書支援員という枠を設けていただいて、4名読書支援員がいるんですが、4名で100冊借りられるということで、非常に幅が広がり、とても助かっております。併せて、前回の会議のときにはあまり連携というものがなかったのですが、この会議で取り上げていただいて図書館の方から来てくださり、連携が少しずつですけども、進んでいるということを併せてご報告したいと思います。ありがとうございます。</p>
<p>川口会長</p>	<p>はいありがとうございました。</p> <p>他にご質疑等ないですか。</p> <p>では他にご質疑等ないようですので、議題に入りたいと思います。</p> <p>(1) 令和5年度事業の進捗について、事務局より説明を求めます。</p>
<p>須藤館長</p>	<p>それでは5か月間の実施事業につきまして報告をさせていただきます。時間も限られておりますので、特徴的な事業を中心に説明をさせていただきます。</p> <p>まず資料2-1、自主事業の進捗報告の通年事業から説明をさせていただきます。</p> <p>まず、項番1番、おはなし会ですけども、2歳からの「こぶた」、4歳からの「ひつじ」という年齢層を分けておはなし会を実施させていただいております。ただ、2歳児からの「こぶた」に参加された方が、そのまま4歳児の「ひつじ」</p>

に参加していただくという傾向が多く見られます。4歳児以上の参加が少ないということがありますので、今後テコ入れをしていきたいと考えております。

続きまして項番2番、赤ちゃんタイム。当初より月曜の午前中については、赤ちゃんやお子さんが騒いでも大丈夫な時間という形で周知をさせていただいています。だんだん他の利用者さんにも認知されつつありまして、その中でお母様の方から要望の多かった「おはなし会」や「工作会」も開催をさせていただいております。月によって増減はございますが、毎回必ず来るという利用者さんが非常に多くなってきていて、その方を中心に友達を呼んで、という輪が広がってきておりますので、こちらも順次広げていけたらなと考えております。

続きまして項番7番、図書館見学の受け入れ。アンダーラインが引かれている部分につきましては、前回以降、新たに実施した内容となります。見学会に当たっては、事前に保育所とか、学校と打ち合わせをさせていただいて、図書館内の見学だけではなく、おはなし会をやるのかやらないのか、本の貸出をします、しませんとか、そういったところまで話を聞かせていただいて、保育所とか学校のニーズに合わせた見学会をさせていただいております。特に今後の予定で書いてあります1月の大貫小学校につきましては、1年生と6年生が来館されるということで、図書館の説明をさせていただいた後、6年生が1年生のために本を選ぶという活動をするという新しい形の見学会となっております。これは非常に面白いと思いますので、また次の機会があれば報告をさせていただいて、周りに広がっていければいいなと考えております。

続きまして、14番、15番の団体貸出。先ほどお話もございましたけれども、団体貸出につきましては、学級文庫に図書館の司書が選んだ本を毎月定期的にお届けさせていただいております。まだまだお届けしている先が4校で、全体に広まっておりませんが、なるべく多く広げていきたいと考えておりますので、私の方も引き続き各学校にお伺いさせていただいて、ニーズを拾いながら、展開をさせていただきたいと考えております。

それから通常の団体貸出。こちらは学校の授業等に合わせて団体貸出となります。全ての読書支援員の方と合わせていただいているという履歴も引き継いでおります。ニーズのヒアリングを行わせていただいたこともありまして、団体貸出の数も月を追うごとに徐々に増えてきているというのが実情でございます。通年事業の方は以上となります。

続きまして期間事業ということで、資料2-2をご覧くださいと思います。

まず、網掛けされてる部分につきましては、前回報告済みの事業となっております。したがって項番7以降から報告をさせていただきます。

まず項番12番。「えほんをよんでみた」という事業。こちらは、絵本の読み聞かせといいますと、お母さんがお子さんに対してする機会が非常に多いということもありまして、ぜひお父さんにお子さんに対して絵本を読んでもらいたい、ということで企画した事業となっております。ただ参加要件として事前に図書館で

本を借りていただいて、読んでいただいてから参加をしてくださいという、ちょっとハードルが高い内容だったと思います。そういったこともありまして、おはなし会の方は多くの利用者さんが参加していただいたんですけども、「えほんをよんでみた」の会の方につきまして1家族の参加となっております。

ただ、参加されたお子さんを見てみますと、違ったお話の聞き方ができたんじゃないかと考えております。特にお子さんが食い入るようにお父さんの顔をじっと見て話を聞いている姿が印象的であったと前任の館長から引き継ぎを受けております。

続きまして13番、おはなし会スペシャル「影絵のおはなし会」。こちらのイベントにつきまして、主催していただいた「劇団きらきら草子」は、こちらのイベントを終了後、解散という予定でございました。ただ、参加されたお子さんたちの反応が非常に良かったことと、観劇した方たちの反応、反響も非常に大きかったということで、引き続き劇団活動を継続していただけることになりました。図書館としても、これからも連携をしていながら、関係を継続していきたいと考えております。

続きまして項番23番。先ほど会長からもありましたけれども「来館者10万人達成セレモニー」で、9月9日にセレモニーを開催させていただいております。こちらにつきましては市長、教育長にも列席いただきまして開催することができました。現在、次をどうするかということを考えておりまして、イオンモールさんともお話をさせていただいておりますが、開館1周年で3月末から4月第1週ぐらいにかけてイベントを計画させていただいております。

続きまして項番25番「としょかんきょうぎかいジュニア」という、子供の目線で図書館をさらに良くするための意見収集ということで開催をさせていただいております。こちらにも記載されているように、子供たちが持つ図書館のイメージと実際の図書館のギャップを埋めることによって、さらに図書館が良くなると考えております。図書館を良くするための提言ということで三つまとめさせていただいておりますけれども、特に「③イベント情報の発信」につきましては、図書館だよりは図書館の中だけで配布しておりますが、こちらを各学校に掲示させていただけるよう働きかけをさせていただいて、まずはお子さんたちから図書館に興味を持ってもらうという活動をしていきたいと考えております。

続きまして資料2-3、今後の予定です。7項目ございますけれども、1番から5番につきましては既に終了した事業です。どちらにつきましても、比較的多くの利用者様に参加をいただいております。

項番6番、7番が今後実施する新しい事業となりますが、項番6番「ネットの取説」イベントにつきましては、フォロワー50万人を超える人気ユーチューバーのポケカメンさんを講師に迎えまして、ご自身のネットでの体験を踏まえて、正しいネットの使い方、付き合い方を学ぶイベントの実施を考えております。

	<p>項番7番「おはなしボランティア養成講座【初級】」。こちらについては予定では2月の館内整理日の2月1日から9日で検討を進めさせていただいておりますが、図書館流通センターもしくは他の図書館の方から専任の講師を呼びまして、初級向けのおはなしボランティア講座を開催させていただいて、本の選び方、読み聞かせ方、本の持って持ち方、目線、とかそういったものを含めた講座を開いていきたいと考えております。</p> <p>簡単ではございますが、こちらで今回までの報告を終了させていただきます。</p>
川口会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>事務局からの説明は終わりました。委員の皆さんから質疑等はございませんか。</p>
富井委員	<p>通年事業14番の学級文庫についてですけど、やっている学校が4校載っているんですが、記載がない学校に学級文庫が進んでいかない何か理由があるのか、その辺を教えてください。</p>
須藤館長	<p>こちらは、手を挙げていただいた学校がこの4校だったということになります。私もこれから学校を回らせていただきますので、そのときにまた学級文庫の導入についてはお願いしてまいりたいと考えております。</p>
富井委員	<p>特に理由とかはないですか。</p>
須藤館長	<p>はい。</p>
富井委員	<p>わかりました。次、良いですか</p>
川口会長	<p>どうぞ。</p>
富井委員	<p>「としょかんきょうぎかいジュニア」っていうのがあったと思うんですけど。参加人数は3名とありますが、意見が的を射て本当にすごいと思うんですけど。更によくするために意見を三つ出してきていて、①貸出冊数を増やして欲しいという意見、開館当初は開館してすぐは本棚が空になってしまうかもしれないので増やさない、という返答だったんですけど、蔵書の拡充状況の見通しというか、具体的な数字と、あと、この会議の事前に貸出状況の数字を用意していただけないかという話を事務局にしたと思うんですけど、用意してもらえてないのかなというのと、どれぐらいになったら貸出冊数を引き上げるっていう見通しなのか具体的に教えてください。</p>
須藤館長	<p>私も前任からそのところは聞いてないんですけど、通常の傾向としまして、本の数が人口の倍になったときに増やしていくところが多いです。例えば茂原市の場合、確か人口10万人のときに20万冊で本の貸出冊数を10冊に増やしております。今の蔵書の増え方を見ますと、地元の企業さんの寄附などもございまして、2年後には8万冊ぐらいになります。そうすると図書館が満杯になりますので、一つはそこが10冊に増やすタイミングなのかなという感じはしているのですけ</p>

	ど、これは皆さんとまた協議をさせていただきながら、時期とかを検討させていただければと考えております。
吉村係長	はい。
川口会長	はい、どうぞ。
吉村係長	<p>事前にご質問いただいて月ごとの貸出冊数ということで、資料をご用意させていただきましたので、今からお配りさせていただきます。</p> <p>図書館が開館した4月から9月までの上半期分の図書室施設ごとの貸出冊数ということで、示させていただきました。上半期で全施設合計では10万4,441冊となっております。</p>
川口会長	富井委員、よろしいでしょうか
富井委員	はい。この資料を見て開館当初はすごい多いと思うんですけど、9月ぐらいの数字がしばらく続くという見通しでよろしいでしょうか。
須藤館長	そうですね、だいぶ落ち着いてきて、借り方も最初のうちはごっそり借りてたのが、1冊読み終わったら1冊また借りていく、富津市の傾向として、予約して本を借りないというところで、予約棚がいつも結構空いています。皆さん、図書館の中で本を探しているという傾向がありまして、館内の本をなるべく増やすということが一つのターゲットと考えています。
富井委員	ありがとうございます。もう1つ。
川口会長	はい、どうぞ
富井委員	同じく「としょかんきょうぎかいジュニア」のところで、「本図書館はうるさい、集中できない、騒々しいというショッピングモール内ならではのご意見あり」という記述があるんですけど、私も利用していて、確か6時になると10分間、ロッキーのテーマが流れますよね。あれはどういう意図で流してるのかなっていう。
須藤館長	あれはイオンさんの方で6時になると、値引きセールが始まるのでそのタイミングで、確か10分間だったと。音は絞ってもらってるんです。
富井委員	図書館が静かだから、またそれが聞こえているのもあるんですけど。
須藤館長	そこのところはイオンさんの設備担当の方と話しをさせていただいて、検討させていただきます。
TRC澤田	はい。よろしいですか
川口会長	はい、どうぞ

TRC澤田	<p>図書館流通センターの澤田伊織と申します。第1回に参加させていただいて、2回目となります。先ほどの説明に補足させていただきます。ロッキーのテーマは、音量を0にできない理由がありまして。緊急通報とかも同じものを使っているんで、図書館内だけゼロにということができないので、絞ってそのままにしております。</p>
富井委員	<p>私も茂原の図書館を何度か利用してるんですけど、あそこも駅前のショッピングセンターの一番上ですよ。</p>
須藤館長	<p>あそこは、そういった放送はないです。</p>
富井委員	<p>わかりました。ゼロにはできないということなんですけど、何か違う工夫があればなと思います。</p>
川口会長	<p>繰り返しになるんですけども、図書館の借り方なんですけど、予約じゃなくて当日借りる方が多いと言ってたのですが、私はそう使い方が多いのかなと思ってたんですけど、他の図書館では予約が多いということですか。</p>
須藤館長	<p>特に芥川賞、直木賞、本屋大賞とか、有名な賞を取りそうな本というのは事前に予約を入れて借りられるということが多いんですが、富津市ではそうではなくて、有ったら借りていくという感じですね。</p>
川口会長	<p>その辺も富津市バージョンとしてこれからの展開を考えるというのも一つかなと思うので聞かせていただきました。ありがとうございました。 他にご質問ございませんか。</p>
富井委員	<p>「おはなしボランティア養成講座【中級】」が、講師の方のアドバイスがすごくわかりやすかったという声を聞きました。ボランティアでおはなしに関わっている人がたくさんいらっしゃるんで、年に一度とか、定期的に開催をお願いしたいなと思いました。 他に、図書の検索機の高さですけど、すごい中途半端な高さだと思うんです。立って使うか座って使うかっていう図書館が多いと思うんですけど、なんかもうちょっと使いやすくしてほしいという意見も出ています。 あと、図書館内の時計が探しにくいという意見もいただいているんですけど。入口正面から入った大きい柱の後ろ側に一つありますが、同化して見えにくいことと、受付カウンターの背中側にあると目がいくんじゃないかなという意見をもらいました。時計の位置とか、なるべく時計を置かないようにしてるとか、何か理由があるのかなって、お聞きしたいなと思いました。</p>
須藤館長	<p>私も、本当に時計がないので、まず入ったときに時計を探しました。カウンターの後ろに時計があるかないかという、茂原市も無いです。それは既に館内の至るところにあるので、そこには置いてないという茂原の理由はあるんですけど</p>

	ども。学習コーナーとか、閉館間際になってから時間を気にしながら本を探したりという利用者さんも多いので、今後の検討材料とさせていただきたいと思います。
富井委員	はい。あとぜひ、子供にもわかりやすい、子供に見えるようなところにも時計を置いていただきたいなど。たとえば図書館内で親子で本を別々に探して、何時にとっても時計が無いということもあるので、ぜひお願いしたいなと思いました。
川口会長	事務局の方で時計の設置と場所を検討していただくということでよろしいですか。
樋口課長	はい、図書館流通センターと相談して進めて参ります。
川口会長	富井委員よろしいでしょう。
富井委員	はい。ありがとうございます。
川口会長	他に質疑がございますか。 はいどうぞ。
杉田委員	資料2-1の7番「図書館見学の受け入れ」で、大貫小学校の予定が1月となっていますけど、決まっていますか。
須藤会長	まだ決まっていないです
杉田委員	そうですか。それでは、先ほど富井委員からもお話がありましたけれども「おはなしボランティア養成講座【中級】」、私も申し込んでいたんですが、体調不良で欠席せざるを得なくなって、参加した何人かに聞いてみました。やはり同じく「基本、復習に良かった」、「初心に戻れた」という感想を聞きました。それでこの後の資料2-3の7番「おはなしボランティア養成講座【初級】」に、「図書館のおはなしボランティアとして参加していただくための養成講座」という内容があるわけですが、講師の先生についてと、人数が10名以上になったときには申込の優先順位とかはどうされるのか。実は【中級】に申し込むときに講師の先生を伺ったんですが、その時点ではまだ決定されていなかったもので、申込者としてはどんな方が講師になれるのかというのは早く知りたいところでした。それから「図書館のおはなし会のボランティアとして参加していただく」ということがうたってあるのですが、図書館のおはなし会ボランティアとして今後どんな形で養成講座を積み重ねて、どういう構想があるのか、今の時点で伺うことができましたらお願いします。
須藤館長	まず、予定している講師は日本図書館協会の認定司書という、日本で200名いない資格を取ったもので、児童専攻している専門のものがおりますので、そのもの

を講師に充てようと考えておりました、まだ調整中でございます。そういった実績のあるものを中心に講師に据えたいと考えています。

それから「おはなしボランティア養成講座【初級】」は、「図書館でおはなしボランティアとして参加していただく」と、うたってはいますけれども、どこでおはなしをしていただくにしても、まずは基本をここで学んで、最終的には図書館に帰ってきていただくと助かるんですけれども、回数をこなさないと実力はいってきませんので、いろんな会に所属して実力アップにつながる講座にしていければと。初級も中級も1回で終わりではなく、茂原の場合は2か月に1回、特に中級は図書館のスタッフも全部入って、その講師からOKが出ない限りデビューできないんです。そういった厳しい、すごいハードルが高い中で全員がおはなし会に臨んでます。皆さんも非常に高いレベルにあると思いますが、どうしても長い間やっていくと、自己流の話し方とか、見せ方になってしまいますので、ぜひ自己を見直す、そういった機会にさせていただければと思っておりますので、それは初級も中級も同じような形で進めていけたらなというふうに考えております。

定員の枠については、次回は参加できなかった方も参加していただけるようにしたいと考えております。

杉田委員

ありがとうございました。【中級】に参加した方で伺った方からは、用意されたものは何もなかったのでメモを取るのが大変だったと。できれば最後の方でも構わないので、中級講座の目的とか、こういうところをこれから頑張ってくださいとか、何かそういうものを持ち帰れるとありがたいと思います。おはなし会のことは以上です。

それからお願いなのですが、子供におはなしを提供する色々な形があるなかで、ブックトークというのがあるのですが、この辺では、ブックトークの講座がなく、私も数年前から通ってるところは美浜の方に行かないとその講座を受けられないんですね。ぜひ図書館で絵本作家の講演とかブックトークを。自分がブックトークを初めて聞いたときにものすごく楽しくて。私はおはなしが大好きなんですけど、どっちにしようかなと迷う、それくらい惹きつけられるものがあったんですね。子供に本を提供するという点において、ブックトークを提供できる技術を身につけることができるたら力になると思うんですね。ですからぜひ検討していただきたいと思います。

須藤館長

ブックトークにつきましては、来年度の事業計画の案を練っているところですが、その中で前向きに検討させていただきます。

川口会長

須藤館長さん、ブックトークという言葉が出たんですけど、概略でいいので皆さんに説明してもらってもよろしいですか。

須藤館長

私もそんなに詳しいわけではないのですが、よくあるのが、本について3分とか時間を決めてその内容の説明をするということですね。その中であらず

	<p>じ、概略を説明して、それで自分が感動したところとか、そういったものを話す。そういった場を設けて、お互いに協議してということをするところもありますし、そういった機会を設けるという。</p>
川口会長	<p>わかりました。これからそれを進めていくことで検討されているということですね。ありがとうございました。杉田さんよろしいですか。</p>
杉田委員	<p>はい、ありがとうございます。 私も知らないスタイルもお話をしてくださって、わくわくしました。プログラムを作って、そのプログラムの流れが大事で、簡潔な言葉で子供たちにわかりやすく、その年代に合うようなところが、その辺が悩ましいところで、ただの紹介でないのが醍醐味みたいなどころがあるんですけど、とてもわくわくします。ありがとうございます。</p>
平委員	<p>ブックトークは子供たちが小学校4年生の国語の授業で勉強しているんです。私達も自己流のブックトークを、実際にこうやってやるんだよってやって、子供たちがやるっていうようなこともあるので、ぜひともその講座があれば、私も本当に自己流でやってきてるので、ありがたいなと思います。子供たちなりのブックトークを実際にやったり経験したりしておりますので、とても良いことだなと思いますので、ぜひともよろしく願いいたします。</p>
川口会長	<p>補足ありがとうございます。そういうことでまた検討をお願いしたいと思えます。他に質問等ございますか。 はい、どうぞ</p>
富井委員	<p>予定のほうなんですけど、1周年に当たって何かイベントなどを準備されている、または開催する予定があるのかをお聞かせください。</p>
須藤館長	<p>いま検討しているのは、作家さんをお呼びして、講演会等を開くという企画を立てている最中です。日程とかもございますので、本当に1周年きっかりっていう形になるかはあるんですが、そういったものを考えております。まだそのぐらいです。あとは場所の関係で、イオンさんの春先のイベントとかのタイミングなどもありますから、図書館としてもその1回だけではなくいろいろなイベントをやっていきたいと考えております。</p>
富井委員	<p>はい。わかりました。</p>
川口会長	<p>よろしいですか。 では、他にありますか。 質疑等ないようですので、本日の議題については終了いたします。 次に、次第4、その他ですけれども、委員の皆さんから何かございますでしょうか。</p>

伊藤委員	<p>はい。なるべく手短かに提案したいと思うんですけども、前回の協議会の後に市民の方からお話がありまして、現在小説家として執筆活動されている方が市内にいらっしゃるということがわかりました。図書館と生涯学習課、イオンモール富津の書店にも資料を渡しています。私の周りにも聞いたんですけど小説家の方が市内にいることを知らない方が多くて、個人的には応援したいなという気持ちがありまして、今後、図書館で何らかの活動ができればいいなというふうに思っております。あまり読書をされない方も図書館を利用する、あるいは読書好きになるきっかけになればいいんじゃないか、と提案させていただきたいなと思います。</p>
川口会長	<p>事務局の方はどうですか。</p>
吉村係長	<p>伊藤委員から以前にお話を伺いまして事務局といたしましても、図書館と連携を取りながらと考えております。</p>
川口会長	<p>わかりましたありがとうございました。他に、何かございますか。 ないようであれば事務局の方から何かございますか。 はいどうぞ。</p>
吉村係長	<p>はい。それでは次回の会議日程についてご連絡させていただきます。 次回、第4回会議につきましては令和6年3月8日金曜日の14時から、401会議室で予定させていただければと思います。 また改めてメールで開催の案内を出させていただきますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。</p>
川口会長	<p>それでは、以上をもちまして全ての議事を終了いたします。 円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。 それでは進行を事務局にお返しいたします。</p>
樋口課長	<p>川口会長ありがとうございました。 委員の皆様におかれましては長時間にわたりましてご審議をいただきありがとうございました。 以上をもちまして令和5年度第3回富津市図書館協議会を閉会といたします。 ありがとうございました。</p>